

市有施設の今後の方向性（案）について

本市では、商工政策課が所管する「八代市働く婦人の家」及び「サンライフ八代」の機能統合・一括運用による施設の見直しを検討しています。

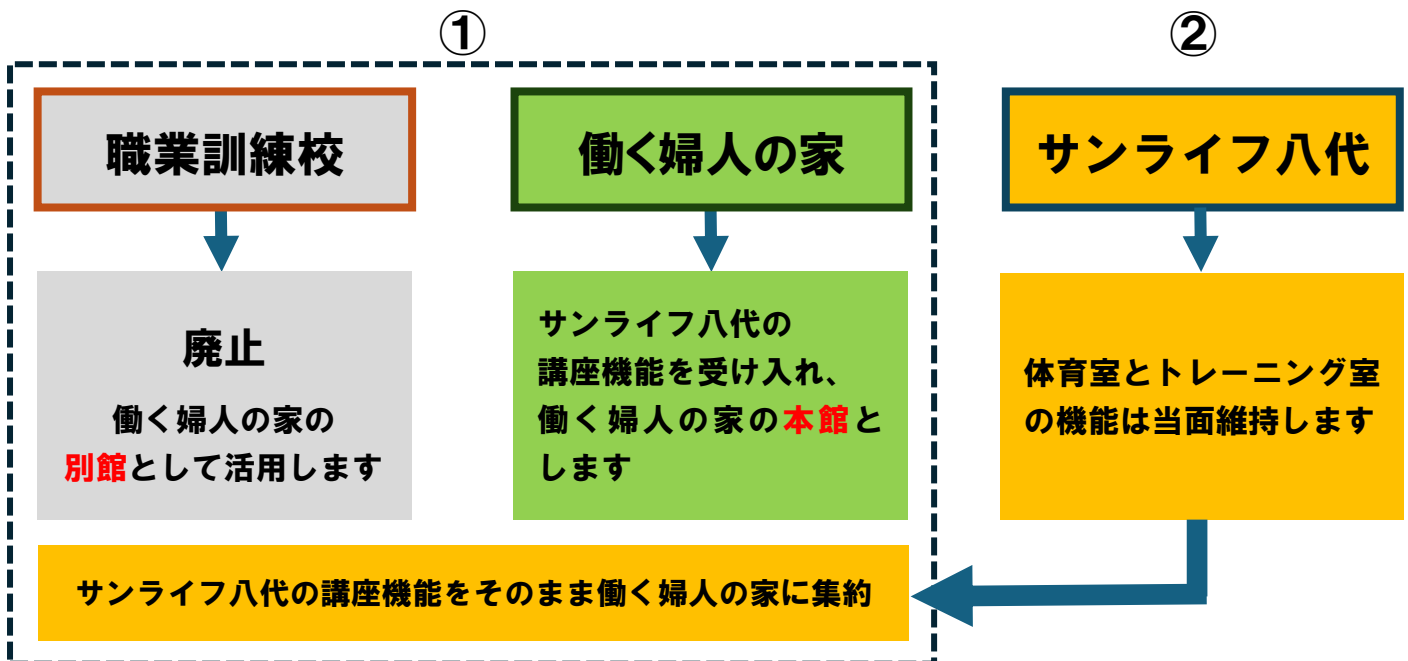
また、八代市職業訓練校については、近年の社会情勢の変化等により、受講生が減少し、その役割の見直しがせまられています。そのため、職業訓練校としての役割を終え、八代市働く婦人の家の別館として、再活用を考えています。

背景と課題

- 働く婦人の家とサンライフ八代の講座が類似していること。
- サンライフ八代の駐車場が不足していること。
- 職業訓練校は、利用者の減少等により認定職業訓練の継続が困難であること。

そのため、本市では令和9年度からの各施設の運用を次のとおり、見直すよう検討しています。

3施設の今後の方針（案）



- 働く婦人の家とサンライフ八代の講座を一元化し、講座受講者の利便性向上を図ります。
 - サンライフ八代での講座開催がなくなることで、体育室及びトレーニング室利用者の駐車場を確保します。
 - 職業訓練校を働く婦人の家の別館として使用することで、施設の機能向上を図ります。
- ※令和9年度からの指定管理は、①働く婦人の家（本館・別館）と②サンライフ八代の2施設をまとめて令和8年度に公募予定。